

支援プログラム

作成日 令和7年9月1日

こども発達支援coconone

居宅訪問型児童発達支援



営業時間8:45-17:15

送迎の実施 なし

株式会社coconone 経営理念

私たちは、すべて子どもたちが「やってみたい」と思える心と、それを実現する身体の発達を大切にします。遊びや人との出会いを通じて、好奇心や達成感を育み、自分自身を知る経験を積める環境を提供します。専門性を活かし、保護者の不安や悩みに寄り添いながら、親子で過ごす日々がより温かく楽しいものとなるよう、関わり方や遊び方を共に考える支援を行います。

支援方針

居宅での個別支援

ご自宅へ訪問し、生活環境に即した個別支援を行います。ご家族の想いや困り感に寄り添いながら、一緒にお子様の成長を見守ります。

専門職による支援

理学療法士が個別評価に基づき、お子様一人一人に最適な支援を提供します。必要に応じて保育士、看護師も相談に応じます。

家庭環境を活かした支援

お子様が慣れ親しんだ家庭環境・生活用具を活用した支援を行い、日常生活への汎化を促します。

健康・生活

一人ひとりの生活リズムや医療的ケアに配慮しながら、日常生活活動（ADL）や生活習慣が身に付くよう支援します。必要に応じて看護師が医療的ケアをサポートし、安心して活動できる環境を整えます。

運動・感覚

運動と感覚遊びの中で、様々な姿勢・動作の経験を重ね、自己身体への気づきを促し、感覚運動機能の向上に繋がります。

認知・行動

遊びを通して、モノの色や形、数などへの興味を育み、概念形成に繋がります。予測しやすい活動構成や視覚的支援等を通して、子どもが見通しを持って安心して取り組める環境を整えます。肯定的な声かけで主体的な行動を引き出します。

言語・コミュニケーション

遊びや安心できる人との関わりの中で、伝えたい思いを育みます。言葉に限らず絵カードやジェスチャーなどを通して、自分の思いを伝える喜びを感じられるよう支援します。

人間関係・社会性

訪問支援者との安心できる環境の中で信頼関係を築き、人と関わる楽しさを育みます。また、遊びを通して、社会性の発達も支援します。

家族支援

保護者様の思いや困りごとに寄り添いながら、家庭での関わりが少しでも楽になり、子育てを前向きに楽しめるようサポートします。

訪問支援の中で、お子様一人ひとりの特性や生活背景に合わせ、姿勢・移動・遊び・コミュニケーションなど日常生活に関する具体的なアドバイスを行うとともに、親子の関わり方を共に考える時間を大切にします。

地域支援・連携

福祉事業所や医療機関等との定期的な連絡・連携を実施。その他にも、必要に応じて情報提供書などを用いた支援会議への参加等を通して、地域の関係機関との連携体制を構築。

移行支援

就学や進級、進学に向けて、学校を含む関係機関と連携し、本人理解に基づく支援の引継ぎを行います。また、保護者様から学校生活に関する不安や希望を聞き取りながら、面談や個別支援計画を通じて支援を行っていきます。

主な行事等

季節に応じた活動（制作活動、水遊び、雪遊び等）
※居宅支援のため児童の状況に応じて対応します。

職員の質の向上

外部研修 ①小児リハビリ・発達支援に関する研修会への参加
②医療的ケア児や重症心身障害児の支援に関する研修への参加
内部研修 ③上記①②に関する、内部勉強会も定期開催
④多職種での事例検討会の開催（チームで支援の質の見直し）
⑤虐待防止、身体拘束適正化、感染症対策、自然災害対策等に関する研修